

2012年4月23日

福井県知事 西川一誠 殿

原発問題住民運動福井県連絡会

代表委員 奥出春行、河内 猛、佐藤正雄、多田初江

### 大飯原発の再稼働を認めず原発とさよならする決断を求める申し入れ

報道によれば、政府は、26日の大飯町民向けの説明会で、福井県は原子力専門委員会の見解を受けて福井県議会の全員協議会を開催して意見集約という形で知事に最終決断を委ね、大飯原発3号4号機の再稼働の判断を早期に完了しようとしています。

しかし4月から発足するはずだった「原子力規制庁」は現在も出来ていません。国民から信頼を得ていない原子力安全保安院がまとめた「暫定的な安全基準」を原発の素人の政治家が短期間で政治判断しただけです。国会の事故調査委員会の最終報告もでていません、事故調査委員会の黒川清委員長も、政府の判断基準について、「暫定的な原因究明に基づいている。必要な対策が先送りされ、想定を超える災害に対応できていないことも明らか。住民の健康を守れるのか」と再稼働に否定的な考えを示しています。そのうえ原発30キロ圏内の住民の避難計画、免震重要棟、フィルター付きベント装置も作られていません。このような現状で「新たな安全基準」を押し付けて、原発の再稼働を急がせる事は、決して許されません。いま必要なことは、拙速に再稼働を判断する事ではなく「事故原因の徹底究明を踏まえた安全基準の確立」を求める事ではないでしょうか。

私たちは、昨日、「再稼働許すな緊急集会 in 小浜」を小浜市泊にて福井県内外から400名を越える参加者で開催し「大飯原発の再稼働を許さず原発とさよならする決断を求めること」を確認しました。本日集会を踏まえて、西川知事に対して以下の項目を要請いたします。

#### [要請項目]

- 1、住民説明会を開き、原発の再稼働の是非をめぐり納得のいく説明責任を行ってください。
- 2、原発の再稼働を認めず、原発とさよならする決断を国に要請してください。